



にじいろ通信 No.46

発行：社会福祉法人健翔会 にじいろ
所在：埼玉県行田市忍 1-11-1
TEL：048-598-5252 FAX：048-501-6031
責任者：にじいろ管理者 齋藤真知子
MAIL：nijihiro@kenshokai.net

「にじいろ」は児童福祉法により、通学している障害児に対し放課後等に日中活動を提供する健翔会の第3号事業所です。

今年もお世話になりました。来年も子ども達と共に成長するにじいろです。

5月より未就学児童に対する「児童発達支援」を始めました。利用児童募集中です!!

「主人公は子ども達」

児童発達支援管理責任者 齋藤 真知子

「今年はオリンピックイヤーですね」なんて言いながら始まった2020年、いつの間にか新しい生活様式で過ごす毎日になりました。にじいろも感染防止策を講じながら、子ども達に楽しんでもらえる活動を模索したり、支援の対応を考え日々精進してきました。そんな中、先日渡辺 MGR より「支援者の支援を考える」研修がありました。いくつかのポイントを挙げてみます。
・自分に合った支援をしてほしい
・理由があることを知って欲しい
・説明して欲しい
・支援者の常識を押し付けないで欲しい
・頑張るばかりは疲れるよ
・信用して欲しい
・やりたいことをやりたい
・あなたは本当に支援する人なの?と、こ



12/19クリスマス会を行いました。子ども達と一緒に作り上げたクリスマス会は終始賑やか&和やかに進みました。サンタさんもプレゼントを届けに登場してくれました~♪



ひげダンスでは、子ども達の出し物を披露しました。得意な事や、面白い事に挑戦!練習に参加出来ない子もいましたが、本番に強い子ども達!かっこよかったです。

れは支援される子ども達の言葉です。子ども達の役に立とうとしていたつもりが、実は自分のためにしてなかったか?自分の考えや価値観を相手に押し付けていなかったか?支援者が実は「障害」になっていなかったか?などの問いかけに今一度考えました。出来るのに、なんでやらないの?ではなく、出来るけど、やりたくない日もある。出来るけど今日は出来なかった、何でも出来るようになりたいわけではない。など、子ども達の思いを知っていくことがとても大切だと改めて感じました。支援者の対応技術、質によって子ども達の成長発達に悪い影響を与えてしまっては残念です。「支援の基本は子ども達本人が主人公である」との言葉通り、子ども達の思いを受け止め、対応できる支援者でありたいと思います。



年賀状作りでは、来年の干支である丑を描き、フェルトや毛糸で仕上げました。



バランスディスクの上で様々なポーズに挑戦です。グラグラして楽しい~♪



プレゼント交換は、紐を引っ張って選びました。僕のプレゼントはどこかな?やったー!!どんなプレゼントでも嬉しい子ども達でした。



クリスマスの壁面制作では、カラフルに色塗りを行いました。全集中ちゅうです。

- ★1月のにじいろ 4日：お正月レク「福笑い」 6日：凧あげ大会 11日：成人を祝う会
27日：余暇活動「節分製作」 29日：レクレーション「ピットリゲーム」
- ★にじいろで欲しいもの トランポリン レゴブロック アイロンビーズ 跳び箱 バランスボール
- ★ありがとうございました 吉野様：クリスマスアレンジフラワー 山田様：ビーズアクセサリ
タイガーマスク、小林様、社協、奥墨様：クリスマスプレゼント